

令和2年第1回

山都町議会定例会

提案理由説明書

令和2年3月9日

令和2年第1回定例会を招集しましたところ、御参集を賜り、誠にありがとうございます。

今年の冬も暖冬傾向で、積雪や凍結による生活基盤への影響はありませんでしたが、春先の水不足が心配されます。

今一度、ため池や水路等の点検整備など早めの備えをお願いしたいと思います。

さて、国内で1月に初めて発生が確認されました新型コロナウイルス感染症は、渡航者に限らず市中感染の様相を呈するなか、日々感染事例の報告がなされ、2月21日には県内での感染発生が報道されました。その後も国内外での感染が拡大する中で、予防や検査対策の課題が取り上げられました。

様々な行事やイベントが、中止や延期を余儀なくされるなか、企業活動の停滞や株価の下落など国内経済にも暗い影を落としています。

政府は、去る2月26日に感染拡大の防止のための基本方針を定め、翌27日には、総理大臣自ら小・中学校等の休校を要請するなど、国を挙げて更なる感染拡大防止のための行動を強く求める状況となっております。

町としても、この方針に沿って、施設の使用休止、行事の延期や中止、更に3月2日から15日まで小中学校を休校にしたところ です。

町民の皆様には、ご不便をおかけすることもあると思いますが、国難とも言える状況下にある事を十分ご理解いただきまして、手洗い・うがいの徹底やマスク着用による自己防衛と不要不急の外出を控えるなど、早期収束に向けて町民一丸となった行動をお願いするものであります。

また、根拠のない噂話などにも十分注意いただき、冷静な判断と落ち着いた買い物行動を重ねてお願い致します。

それでは、12月定例会以降の町政等についてご報告申し上げます。

九州中央自動車道山都中島西ICの開通は、福岡・鹿児島方面からの利便性が向上し、年末年始の通行量の増加を実感しております。

数年後の矢部IC開通を見据えた町づくりを、さらに加速していきたいと思っております。

蘇陽・五ヶ瀬間につきまして、令和2年度事業化に向けた手続きが開始されるといううれしい知らせが、2月末に飛び込んで参りました。

関係の皆様のご熱心な運動の成果であり、併せまして矢部・蘇陽間の事業化に向け、要望活動をなお一層活発化させ、一日も早い事業決定を目指します。

年が明けまして、矢部中学校3年の村上直弥君が、都道府県対抗駅伝の県選手団の一員として、第6区を区間9位という好成績で熊本県の7位入賞に大きく貢献し、先日の郡市対抗駅伝でも、区間新記録で上益城郡の6位入賞に貢献した活躍は、多くの町民に感動を与えてくれました。今後の成長と活躍に期待したいと思います。

また、1月末に第3回子ども議会を開催し、中学生の皆様から山都町の将来を描きながら様々な提案や要望を頂きました。

今議会に、いわゆる「星空を守る」ための条例を提案しておりますが、昨年の子ども議会での提案が契機となったものです。

さて、大矢野原演習場での日米共同訓練は、地域住民の皆様にも多大なるご負担とご心労をお掛けしました。

騒音測定を実施しながら訓練の実態把握に努めたところであり、今後の環境整備の基礎資料にしたいと思います。

また、演習場管理については、火災予防に大きな課題と教訓を残しました。安心安全の確保のための適正な維持管理を強く申し入れたところです。

2月には、金内在住の鳥越靖基さんが、「未来につながる持続可能な農業推進コンクール」において農林水産省生産局長賞を受賞されました。

有機農業・環境保全型農業の取組みが大きく評価されたものです。

個人の経営能力は勿論ですが、地域内外での仲間作りも活発です。有機農業で山都町への移住を志す方々の相談相手として大きな支えとなっています。

また、2020年に2020名を目標として取り組んで参りました「くまもとグリーン農業」生産宣言・応援宣言者が、昨年2019年12月末に2,058名となりました。

今後も名実ともに有機農業の町としての地位を強固なものにする継続的な取組みを行って参ります。

さて、町政4年目を迎えますが、新年度の主な施策を述べたいと思います。

まず、「矢部IC開通」を見据えた町づくりは、人やモノの流れに大きな変化が予想される中で、町経済活性化の起爆剤として町民の皆様からも大きな期待が寄せられています。

IC周辺は勿論ですが、国道沿線における観光施設等の整備も含めた町づくりは、喫緊の課題として捉えています。既に着手しています事業計画の更なる推進を図り、早期完成を目指して参ります。

次に、「総合体育館の整備」です。中央グラウンド周辺に整備を計画しているグラウンドゴルフ場等のスポーツ施設に隣接させ、一帯を総合運動公園として機能を充実し、町民の体力向上と健康増進、併せて非常時における利便性の高い避難所機能を有する施設を目指します。

次に、通潤橋の4月放水再開の目処が立ちましたので、町内外に向けた広報活動に取り組んでいます。

旅行プランの大きな柱として期待しながら、文楽や神楽などの伝統文化や四季折々の姿を満喫できる提案も積極的に取り組んで参ります。

一方で新型コロナウイルス感染症の拡大は、住民生活はもとより町内の経済活動にも大きな影響を及ぼす状況となりました。

今後も注意深く情勢を見極めながら、適時・的確な対応を実施することで、影響を最小限に食い止める必要があります。

次に、今定例会に提案しております「山都町総合計画の後期基本計画」につきましては、令和6年度までの町の基本施策を取りまとめ、「山の都のまちづくり」に向けた様々な取組みに関して目標を掲げました。

最後に、町政の最重要課題として取り組んでおります熊本地震と豪雨災害からの復旧復興につきまして、農家の皆様に多大なご心配とご苦勞をお掛けしておりますが、農業災害につきましては、国、県の支援や関係する皆様のご尽力で、全ての工事契約を結ぶ事が出来ました。

地元はもとより町外の業者の皆様と一丸となって、早期完了に取り組んで参りますので、町民の皆様のご理解とご支援を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

次に、今定例会に提案しております議案についてご説明いたします。

今回の定例会に提出する議案は32件で、条例11件、補正予算7件、当初予算8件、その他6件です。

議案第3号から第13号は、それぞれ必要な条例の一部改正及び新たに条例を制定するものです。

議案第14号から第20号は、令和元年度における一般会計及び特別会計並びに事業会計の補正予算に関するものです。

議案第21号から第28号は、令和2年度における一般会計及び特別会計並びに事業会計の当初予算に関するものです。

議案第29号は、第2次山都町総合計画後期基本計画の策定に関するもの、議案第30号は、債権放棄に関するものです。

同意第1号は、教育委員4名のうち1名が本年3月25日をもって任期満了となりますので、教育委員の任命について同意を求めるものです。

同意第2号から第4号は、固定資産評価審査委員会委員3名が本年3月31日をもって任期満了となりますので、委員の任命について同意を求めるものです。

以上、提案理由について説明いたしました。

詳細については、担当課長から説明させますので、適切なお決定をいただきますようお願いいたします。